

2024年(令和6年) 5月16日 木曜日

デーリー東北 12面 掲載

うつそくを手に「宣誓の詞」を斎唱する学生



た。

宣誓式は、本格的な実習が始まるのを前に、看護に携わる責任の重さを改めて自覚してもらおうと実施している。

式典では、宣誓者がそれぞれのうそくに明かりをともし、「宣誓の詞」を斎唱。水野学長は「高度な医療技術を身に付けた看護従事者を目指すとともに、医療全体の進歩に役立てる研究心も体得してほしい」と式辞を述べた。

宣誓者を代表し、畠山千代里さん(19)が「これまでに学んだ知識と技術を基に、より専門的に学びを深めたい。看護師になるという目標に向かい、主体的に学習に取り組む」と意気込みを語った。式の後は、青森県立保健大名誉教授の上泉和子氏が、特別記念講演を行った。

(千葉達也)

看護の道進む決意

八学大看護学科宣誓式

八戸学院大(水野眞開いた。1年余りの基礎医学長)健康医療学基礎看護教育を終えた2部看護学科は11日、同年生42人が、看護の道大学会館で宣誓式をに進む決意を新たにし